

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月10日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|-------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 3870103797 | | |
| 法人名 | 医療法人 博愛会 | | |
| 事業所名 | グループホームしらさぎの里 | | |
| 所在地 | 松山市被川2丁目2-7 (電話) 089-951-0750 | | |
| 管理者 | 二宮 美和子 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 JMACS | | |
| 所在地 | 松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年7月11日 | 評価確定日 | 平成20年9月10日 |

【情報提供票より】 (平成20年4月30日事業所記入)

| | | | |
|------------------------------------|--------------------|------------|------------------------|
| (1) 組織概要 | | | |
| 開設年月日 | 平成16年2月1日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 7 人 | 常勤 | 3人, 非常勤 4人, 常勤換算 5.75人 |
| (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く) | | | |
| 家賃(平均月額) | 40,000 円 | その他の経費(月額) | 利用状況により異なる |
| 敷金 | 有(円) (無) | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円) (無) | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 1,000 円 | | |
| (3) 利用者の概要 (平成20年4月30日現在) | | | |
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 5 名 | 女性 4 名 |
| 要介護1 | 1 名 | 要介護2 | 1 名 |
| 要介護3 | 1 名 | 要介護4 | 2 名 |
| 要介護5 | 4 名 | 要支援2 | 0 名 |
| 年齢 | 平均 82.3 歳 | 最低 69 歳 | 最高 105 歳 |
| (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算 | | | |
| 指定 (あり)・なし | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 | | |
| 指定 あり・(なし) | 指定認知症対応型通所介護 | | |
| 届出 あり・(なし) | 短期利用共同生活介護 | | |
| 加算 (あり)・なし | 医療連携体制加算 | | |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

現在、毎月、職員会議を行なっておられる。利用者個別に職員が担当するようにし、さらに利用者へ細やかに対応ができるよう、取り組みをすすめておられる。
利用者が「まだ90歳だから」と言われたことに、職員は感動し、ものの捉え方や考え方を教えてもらったと話しておられた。
日々の記録の様式に、利用者の表情や言葉、行動について職員の気付きを記入する欄を設けておられる。又、ベッド脇にノートとペンを用意され、いつでもご自分の思いが書けるようにされている方もあった。
併設デイサービスの利用者の方達と折り紙をされたり、行事等を楽しんでおられる。

【質向上への取組状況】

| |
|---|
| 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| ・現在、管理者は、利用者、ご家族、職員との関係作りに力を入れて取り組んでおられる。 |
| 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| ・自己評価項目一つひとつについて職員個々の意見を聞き取り、管理者が自己評価をまとめられた。 |
| 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| ・会議時、ご家族から食事や入浴等、利用者の一日の過ごし方を教えてほしいという要望があった。又、民生委員の方から事業所の印象等について意見をいただいた。 |
| 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| ・ご家族の来訪時や電話等で日々の様子を伝えておられる。ご家族からは、運営推進会議時や直接、ご意見をいただいている。 |
| 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| ・併設デイサービスの利用者や慰問に訪れた方達との交流はあるが、普段の生活の中では地域の方とのかわりあいは少なめである。 |

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

医療法人 博愛会

(ユニット名)

グループホーム しらさぎの里

記入者(管理者)

氏名

二宮 美和子

評価完了日

平成 20 年 4 月 30 日

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------|------|---|---|---------------------------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | (自己評価) | | |
| | | | 利用者が地域で安心して生活できるよう「自分らしく」を理念にあげ、その人らしく過ごせるよう支援している。 | | その人が自分らしく生活していけるよう、利用者と共にスタッフ全員で取り組んでいきたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 利用者を否定しないことで利用者一人ひとりが「自分らしく」過ごせるよう支援されている。 | | さらに、地域密着型サービス事業所として、地域の中で何を目指していくかということについて、この機会に話し合われてみてほしい。 |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | ホールに「自分らしく」の書を掲げており、個人個人のケアについて話し合うことをしている。 | | 全職員が理解できるよう取り組んでいきたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 理念を共用空間に掲示し、職員間の共有に努めておられる。 | | さらに、理念に基づいて日々実践できているかということについて、職員で確認し合うような機会も作ってみてはどうだろうか。 |
| 3 | | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | ご家族が面会に来られた際には、生活全般に関する要望等をお聞きし、なるべく要望に沿えるよう支援している。 | | 地域の方との交流が少ないため、今後は交流ができ、内容についての理解を求めたい。ご家族のスタンスは様々であるため、「家族会」の名目にて、年に数回でも話し合いの場を持ちたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 利用者の重度化が進んでいるため、近隣との関わりはほとんどない状態である。 | | 少しでも、散歩のできる機会を作り、近隣との関わりや顔見知りになる関係を持っていきたい。 |
| 5 | 3 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 地域の行事に参加していくことはできていないが、デイサービスでの行事には参加させてもらい、地域の団体との交流はできている。 (外部評価) 併設デイサービスの利用者や慰問に訪れた方達との交流はあるが、普段の生活の中では地域の方とのかかわりは少なめである。 | | 外出行為自体が困難であるため、家族等に協力してもらうことで、地域の行事に参加できる機会を作りたい。 管理者は、「地域の方と声をかけ合えるような関係作り」を目指しておられる。地域の方達との関係を深めていけるよう、事業所側からの積極的な働きかけが期待される。 |
| 6 | | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 学校の慰問等、依頼あれば受け入れをしながら取り組んでいるが、利用者自らが取り組んでいくことは困難である。 | | 職員間で話し合いながら、利用者の体力を考慮しながら協力できることがあれば積極的に参加していきたい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 意義や評価について全職員へ伝達し、話し合いを持って行きたい。 (外部評価) 自己評価項目一つひとつについて職員個々の意見を聞き取り、管理者が自己評価をまとめられた。現在、管理者は、利用者、ご家族、職員との関係作りに力を入れて取り組んでおられる。 | | 自己評価を全員で行い、意義の話し合いをし、サービスの向上に努めて行きたい。 評価を行う際、事業所で気付かれたことは、改善への最大の起点でもある。貴事業所のさらなる質の向上に向け、取り組みの工夫等、全職員で話し合われてほしい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) | |
|------|------|--|--------------------------------|---|--|------------------------------|
| 8 | 5 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) | | | |
| | | | | 2ヶ月に1回開催され、話し合いを行なうことで、地域との連携・サービスの向上が図れる機会がある。 | | 充分に活かしていきたい。 |
| | | | (外部評価) | | | |
| | | | | | さらに、会議開催への積極的な取り組みが期待される。会議の意義を理解し、会議を活かして改善への取り組みにつなげていかれることが期待される。 | |
| 9 | 6 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (自己評価) | | | |
| | | | | 機会あれば、市との連絡を取っている。 | | 常に連携がとれる体制にしていきたい。 |
| | | | (外部評価) | | | |
| | | | | | 運営推進会議に出席いただき、会議の意義をお話しいただいたり、地域との交流を積極的にすすめることについてアドバイスをいただいている。 | |
| 10 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) | | | |
| | | | | 現在は、利用者がいない。 | | 制度面での研修を行なっていきたい。 |
| 11 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見逃されることがない よう注意を払い、防止に努めている | (自己評価) | | | |
| | | | | 虐待についての認識不足の可能性もあるため、具体例を挙げて認識を高めてゆきたい。(言葉の虐待等) | | 職員間での話し合いを持ちながら、研修を行なっていきたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 契約時には事前訪問し、本人・家族に説明し、同意を得ている。 | | 利用者・家族の不安を取り除き、十分に理解してもらえるよう徹底したい。 |
| 13 | | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 苦情に関わらず、意見があれば書いてもらうよう、設置箱を用意し、用紙を置いて対応しているが、面会時に直接言われる家族の方が多い、 | | 意見が出た場合は、即対応し、少しでも要望に応える祖力をしていきたい。 |
| 14 | 7 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) 面会の際に報告するようにしているが、面会のない家族には、報告事項や相談事項が必要な場合に電話連絡している。 | | ホームの状況が把握できる通信文等を発行していきたい。 |
| | | | (外部評価) ご家族の来訪時や電話等で日々の様子を伝えておられる。 | | さらに、現在、利用者のよい表情を写真に納めている途中である。管理者は、今後、事業所独自のたよりを作成したいと話しておられた。 |
| 15 | 8 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 家族に限らず、利用者からの意見が言い易い雰囲気作り・信頼関係が築けるような雰囲気作りを心がけている。 | | 利用者・家族の意向に沿った支援ができるような体制を築いていきたい。 |
| | | | (外部評価) ご家族からは、運営推進会議時や直接、ご意見をいただいている。 | | 事業所では、今後、家族会を定期的に関きたいと考えておられる。ご家族がさらに意見を出しやすくなるような雰囲気作り等、工夫を重ねていきたいと考えておられた。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 16 | | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) ミーティングや個人的時間を設け、個々の意見を聴取するようにしている。 | | 職員の意見が出ないのが現状であり、気軽に意見が出る機会を持っていきたい。 |
| 17 | | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) 現在、職員は定着が図られているが、余裕があるとは言えず、ゆっくり利用者や家族とのコミュニケーションを図っていくのに制約がある。 | | 柔軟な体制・非常時の人員確保ができるような体制に持っていきたい。利用者の楽しい時間を作ってあげたい。 |
| 18 | 9 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) 退職者が続くと、利用者の動揺もあると思われる。現在は落ち着いている。 | | 利用者は元より、家族も職員の名前・顔すら知らない状態であったため、職員の紹介をしていながら、安心してもらえるよう努力していきたい。 |
| | | | (外部評価) 最近、管理者の交代等もあったが、利用者、ご家族との関係作りに努めておられる。職員を名前で呼んで下さる利用者の方もおられる。 | | 現在は、日勤と夜勤の体制となっているが、今後、早出や遅出等、シフトの工夫も検討しておられた。さらに、利用者が「自分らしく」過ごすことを支えるための体制作りが期待される。 |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 研修に出て行く機会が少ない。 | | 職員の質の向上・意識改革をしてもらうためにも研修には参加し、勉強会にて情報の共有を図りたい。 |
| | | | (外部評価) 現在、毎月、職員会議を行なっておられる。利用者個別に職員が担当するようにし、さらに利用者へ細やかに対応ができるよう取り組みをすすめておられる。 | | さらに、職員の段階に応じて勉強ができるような体制や仕組み作りが期待される。職員のレベルアップからも、事業所の質の向上を目指していかれることが期待される。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 20 | 11 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) | | |
| | | | 他のグループホームとの交流が少ないため、身近なグループホームの取り組み等について情報を入れている。 | | もっと交流を増やすことで、質の向上を図っていくとともに、情報を吸収していきたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 地区の介護保険事業所の方達が集まる会に参加をし、他事業所の課題等を知ることができた。 | | さらに、職員が、他事業所の取り組み等を知るような機会作りも期待される。他事業所との意見交換やネットワーク作りに向け、1歩進めた取り組みが期待される。 |
| 21 | | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 職員は大なり小なりストレスを抱えながら仕事をしており、二度手間を省くことで、少しでも業務上の環境を整備している。しかし、一人一人の悩みを受け止めていくことができていない。 | | もっと一人一人の意見が通りやすい環境作りが必要であるが、考えも様々であるため、統一していくことで、少しでもストレス軽減につなげたい。 |
| 22 | | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 運営者も頻繁に来所し、また、電話等で職員の把握を行っている。 | | 資格取得に向けた支援を行い、職員の向上心を図る取り組みをしたい。 |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) | | |
| | | | 入所前に本人と面談し、意向等を含めアセスメントを行なう。ホームについて説明し、楽しみや興味のある話をする。 | | 本人の意向を聴きながら、不安や期待について聴取し、信頼してもらえる対応を心がけたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 24 | | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 事前面談にて家族の意向や不安事項を聴取し、安心して入所していただけるよう話し合っている。 | | 入所前に不安を抱えるのではなく、楽しみを持ってきていただけるよう信頼関係を築く必要がある。 |
| 25 | | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 事前面談結果を考慮し、職員間での話し合いを行ない、安心して利用していただける準備を行なっている。 | | 病院との連携をとりながら、家族を含め、支援方法を考えていく。 |
| 26 | 12 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) 事前に家族に見学していただき、理解していただく。本人が入所後は、職員が常に声かけを行いながら、少しでも環境に慣れていただけるよう配慮している。 | | 入所前と入所後では、本人の気持ちに変化もあると思うので、不安を取り除けるよううまく対応していく。 |
| | | | (外部評価) 入居間もないころには、職員が声をかけるようにされている。又、ご家族にも様子を見に来てもらう等、協力をお願いされている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 今までの経緯を大切にしながら、話題作りができ、他の利用者との関係も築けるよう配慮している。 | | 無理強いをせず、まず信頼関係をしっかり築いていけるよう職員全員が意識していく必要がある。 |
| | | | (外部評価) 利用者が「まだ90歳だから」と言われたことに、職員は感動し、ものの捉え方や考え方を教えてもらったと話しておられた。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|--|---------------------------|--|
| 28 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 家族の面会時には利用者との時間を大切にもらい、お帰りの際に現状についての報告・相談をさせていただいている。 | | 家族の意向にも耳を傾け、本人との思いが違う場合には、お互いの意見を聴き、話し合いながら対処していく必要がある。 |
| 29 | | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) お互いの時間を大切にいただき、本人・家族との意見の行き違いがないように相談を都度行なっている。 | | 現在、お便りを出していないため、面会に出来ない家族に対して、現状報告を定期的に行なっていきたい。 |
| 30 | | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている | (自己評価) 近所の知り合い・友人等の面会時には、少しでも話がスムーズにいくよう支援している。 | | 本人の精神状態・身体状況にもよるが、できるだけ無理のない会話・時間を持っていただきたい。 |
| 31 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) ホールで過ごしている時間には、利用者同士のコミュニケーションが持てるよう支援している。言語障害の利用者も多いため、言いたいことを理解し、伝えることができるよう援助している。 | | 身体状況・精神状況を考慮しながら、食事・ティタイムには交流が持てるようにしていきたい。たまにトラブルを起こすこともあるが、利用者同士の関係が保てるよう配慮していきたい。 |
| 32 | | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 退所された利用者の家族等の来所があったら、思い出話をしたり、状況を聴いたりしている。感謝してもらった言葉はありがたく受け止める。 | | 利用者はいなくても、今まで通りの関係が継続できるよう持っていきたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|--|--|---------------------------|---|
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) | | |
| | | | 本人の意向を汲むために、本人に確認したり、家族からの聞き取りをしながら、少しでも把握できるよう努めている。 | | 思いや考え方に相違があるため、全てを把握し実行していくことは困難であるが、できるだけ取組みたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 日々の記録の様式に、利用者の表情や言葉、行動について職員の気づきを記入する欄を設けておられる。又、ベッド脇にノートとペンを用意され、いつでもご自分の思いが書けるようにされている方もあった。 | | さらに、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を引き出せるような職員のかかわり方についても工夫を重ねていかれることが期待される。 |
| 34 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) | | |
| | | | 日常会話の中で、本人や家族から以前の経緯等を聞き、把握に努めている。 | | もっと多くの情報が収集できるよう話し合いを持っていきたい。 |
| 35 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 日々の生活の中で、本人の状況把握をしながら本人に合ったスタンスを知っていく。 | | 重度ではあるが、残存機能を活かしながら、声かけ・見守りにて現状把握に努めたい。 |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | 計画作成前に、本人・家族の意向を確認している。評価を行ない、カンファレンスを開催しながら計画を立てている。 | | 職員全員の意見を聞きながら、利用者本位の計画作成をしていきたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | ご本人の希望を聞き取り、ご家族の来訪時には、意見をうかがい、介護計画を作成しておられる。ご家族にも支援の協力をいただくこともある。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) | |
|--------------------------|------|--|---|--|--|--|
| 37 | 16 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) | | | |
| | | | | 本人の状況の変化に応じた支援を家族や職員と相談している。 | | 状態の変化を把握し、臨機応変に計画の見直しをしていく必要がある。 |
| | | | (外部評価) | | | |
| | | | 定期的な見直しの他、利用者の退院時等、状態に変化があるような場合には、介護計画の見直しを行なっておられる。 | | | |
| 38 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) | | | |
| | | | | 本人の毎日の状態・表情・行動を個別に記録し、申し送りの中で職員に伝え、課題があれば相談している。 | | 職員の目線を利用者に合わせ、記録の取り方・対応の仕方を統一し、見直しに活かしていきたい。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | | |
| 39 | 17 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) | | | |
| | | | | デイサービスの行事にはできるだけ参加してもらっている。 | | もっと多くの楽しみが共有できるようにしていきたい。 |
| | | | (外部評価) | | | |
| | | | 併設デイサービスの利用者の方達と折り紙をされたり、行事等を楽しんでおられる。 | | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|---------------------------|---|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) 民生委員の面会があり、本人の状況を把握してもらっている。最近、ボランティアの慰問は少ない。 | | 地域のボランティアに声かけを行い、人とのコミュニケーションを図っていききたい。 |
| 41 | | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) 訪問理容サービスを活用している。 | | 他のサービスについても視野に入れ、支援していききたい。 |
| 42 | | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) 運営推進会議にて包括支援センターの職員との話し合いの場を設けている。 | | 情報交換・協力体制をしっかりと築いていきたい。 |
| 43 | 18 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) かかりつけ医の往診が2週間に1回あり、状態の把握をしていただいている。緊急時の対応も24時間にて連絡可能である。 (外部評価) 協力医といつでも相談できるようになっており、緊急の時にも駆けつけて下さるようになっている。 | | 主治医との連絡を密にしながら、病気の予防・早期発見に努めていきたい。 |
| 44 | | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) 精神科の医師の往診が2週間に1回あり、心身の状態を診てもらっている。 | | 専門医の指示を受けながら、安定した生活をしてもらうよう支援したい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 45 | | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) 職員に看護職員がおり、日常的な健康管理・状況把握はできている。また、訪問看護との連携も取っている。 | | 本人の健康状態・今後の医療についての支援について連携を図っていきたい。 |
| 46 | | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 病状の把握をするため、家族や病院関係者に連絡している。 | | 退院後の相談を含め、連携を密にしていきたい。 |
| 47 | 19 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) 重度化が進んでおり、常に主治医・家族と相談できる体制にしている。 (外部評価) 重度化への対応や看取り支援について、現在、利用者やご家族の希望をお聞きしている途中である。 | | 職員の対応について統一し、苦痛を最小限にしていく必要がある。 ご本人やご家族の希望等に応じて、事業所での看取り支援も検討されている。全職員で勉強や話し合いを重ね、ご家族等と連携が図れるような体制作り等が期待される。 |
| 48 | | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) ホーム内での限界もあり、家族・主治医との相談の場を持ちながら、職員間での話し合いも行っている。 | | 家族に理解してもらえよう話し合っていきたい。 |
| 49 | | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) 主治医による情報提供・生活面での介護内容を作成し、提供している。 | | 正確な情報が送れるよう、職員全員が把握しておく必要がある。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| <p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> | | | | | |
| <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> | | | | | |
| <p>(1)一人ひとりの尊重</p> | | | | | |
| 50 | 20 | <p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>(自己評価) 利用者に対しての処遇・声かけに注意している。</p> <p>(外部評価) 職員は、利用者に対して否定をせず、信頼関係が築けるよう取り組まれている。</p> | | <p>職員のレベルアップが必要である。</p> <p>管理者は、「利用者主体の対応」ができるよう取り組んでいきたいと話しておられた。さらに、利用者の立場に立った、ケアや環境作りについても、サービスの質の向上を目指して取り組んでいかれることが期待される。</p> |
| 51 | | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | <p>(自己評価) 利用者の状態が様々であるため、個々に合った話し方を心がけ、できるだけ希望を聞くようにしている。言語障害のある利用者に対しては、表情や行動で汲み取っている。</p> | | <p>意思表示が困難な利用者に対しての支援を考えていきたい。</p> |
| 52 | 21 | <p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>(自己評価) 職員サイドの業務内容に合わせてしまうことがある。個々のペースで処遇できるよう心がけている。</p> <p>(外部評価) 利用者は、それぞれがご自分のペースで食事をされ、午後を過ごしておられたが、時に職員は、利用者「待って」と言ってしまうような場面が見受けられる。</p> | | <p>職員の都合や思いを押し付けないように努力していく必要がある。</p> <p>さらに、利用者一人ひとりが主体の生活を支援するためにも、個別で細やかな対応が期待される。事業所の理念「自分らしく」に沿ったケアを実践できるよう、職員で話し合いを重ねていかれてほしい。</p> |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|--|---------------------------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) 訪問理容が月1回あるので、希望あればカットしてもらっている。車椅子生活者が大半であるため、着やすい洋服を用意してもらっている。 | | 家族の支援が必要であり、本人の意向を踏まえて職員も協力していきたい。 |
| 54 | 22 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 重度であるため、一緒に調理はできないが、下膳はしてもらうこともある。食事介助が必要であるため、共に食事摂取することはない。 | | 利用者の食事が終わった後、職員のみで食事しており、メニューは利用者と同じである。 |
| | | | (外部評価) 職員が食事を作っておられ、利用者は、食事を作る音やおいを感じることができる。 | | 事業所の食事支援について「利用者個々がおいしい食事をさらに楽しむ」という観点から、支援に工夫できる点はないか点検されてみてほしい。 |
| 55 | | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) 喫煙者・飲酒者はいない。おやつは希望を取り入れながら、出している。 | | 家族からの差し入れもあり、本人の好みに合ったものを提供し、喜んで食べていただきたい。 |
| 56 | | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) おむつ交換に関しては、定期的に行なっており、必要に応じて臨機応変にしている。トイレ誘導が必要な利用者に関しては、早めの声かけ・見守りを行なっている。 | | 皮膚状態の観察を行ないながら、おむつかぶれや不快感を解消していきたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------------|---|
| 57 | 23 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) 2 / 3の利用者が機械浴であり、曜日を決めて入浴している。時間は、午後4時からであり、夕食前入浴である。日曜日は入浴していない。発汗時・失禁時は、シャワー浴等行ない、不快感を解消している。 | | 一人が週2回入浴であり、これ以上増やすことは困難である。今のペースで清潔維持に心がけていきたい。 |
| | | | (外部評価) 職員は、利用者に入浴の声かけを行い、支援されている。 | | さらに、「利用者それぞれが入浴を楽しむ」という観点から支援について工夫できる点はないか話し合われてほしい。 |
| 58 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) 食後はベッドにて休息してもらっている。疲れない程度に適度な休息の声かけ・誘導を行なっている。 | | 行事等に参加してもらったりして、適度な運動・刺激ができるよう援助していきたい。 |
| | | | | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) 車椅子の利用者多いため、役割を決めることはできないが、生活歴を知ることによって楽しみを作る話題づくりへの支援を心がけている。 | | 毎日を何気なく過ごすのではなく、少しでもハリのある生活を送っていただけるよう、その人に合った楽しみを支援していきたい。 |
| | | | (外部評価) 好きな歌手のDVDを見られたり、ご家族の来訪がほぼ毎日ある方は、居室で一緒におやつを食べながら、ひと時を共に過ごしてられる。 | | |
| 60 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) 現在、金銭管理はキーパーソンがしている。現実問題として、自分で金銭管理していくことは困難であるため、必要物品については、連絡にて持参してもらっている。 | | 今後も、金銭管理はお任せしていく。自分なりに欲しいものは買っていただけるよう支援していきたい。 |
| | | | | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|--|
| 61 | 25 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | ホームが4階にあるため、単独での外出は困難である。現在の職員体制では、家族の協力なしでの外出はできていない。本人から、外出したいとの要望が出ている。 | | 車椅子での自立移動ができる利用者が限られ、介助なしでの移動は困難である。職員体制を整え、散歩や買物等の支援を行っていききたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所ビルの屋上に出ることもある。 | | 管理者は、今後、ご本人・ご家族の外出への希望に応える努力をしていきたいと考えておられる。利用者が楽しい時間を過ごせるよう、介護計画にも盛り込み、取り組んでいきたいと考えておられた。 |
| 62 | | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) | | |
| | | | 利用者の家族が散歩に連れて出ることにはあるが、みんなで外出することは困難である。また、個人で近所へ出ることも困難であり、外出に関しての援助はできていない。 | | 職員の勤務体制を整え、少しでも外出できる機会を作っていききたい。 |
| 63 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 障害があるために電話することはほとんどない。用事ある場合は、職員が電話にて伝えている。 | | 筆記ができる利用者には、負担にならないように通信の手段を講じたい。 |
| 64 | | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) | | |
| | | | いつでも訪問・面会していただけるよう配慮している。前もって面会の打診があった場合には、本人に伝え、気持ちよく面会してもらえよう援助している。 | | 本人と遠慮なく過ごしていただけるよう、今後も職員への申し送りをする事で、配慮していききたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|--|---|---------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 転倒の危険性のある場合には、家族の同意を得ながら、必要最小限での拘束をしているが、危険性が低い場合に関しては見守り等、職員での配慮を講じている。 | | 必要以上の拘束については、職員間にて話し合い、危険回避に努めていきたい。 |
| 66 | 26 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) 居室や窓へ施錠はしていない。エレベーターについては、臨機応変に対応している。 (外部評価) エレベーターが事業所の出入り口になっている。市の指導を受けてエレベーターの鍵を解除された。 | | 声かけの工夫・見守りをしていくことで、鍵をかけない取り組みをしていきたい。 |
| 67 | | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) 日中については特に問題ない。夜勤帯は一人勤務であるため、徘徊者への安全について見守りしている。 | | 現状のまま、見守り・声かけを徹底していき、職員への申し送りを徹底していく。 |
| 68 | | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) 現在、危険行為をする利用者もいないが、触って危険がある物品については、保管に心がけている。 | | 重度であるため、危険な物品に近づく利用者はいないが、注意を払っていきたい。 |
| 69 | | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) ヒヤリハットの記録をし、対策について職員で検討している。 | | 事故防止について、職員で検討し、再発防止に努めていきたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 70 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) 緊急連絡網は作成しているが、夜勤者が一人であるため、不安を感じている。 | | 心配蘇生法・AEDの使用法等、習得する機会を作り、緊急時の対応ができるよう指導していく必要がある。 |
| 71 | 27 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) 避難訓練を定期的に行っている。 (外部評価) 法人全体の避難訓練を定期的実施しておられる。 | | 日中ではなく、夜勤帯での対策を講じていく必要がある。 利用者全員が安全に避難できるような方策を検討されることが期待される。夜間時の対応や器具等の使い方についても繰り返し訓練を行う等、安全・安心へのさらなる取り組みが期待される。 |
| 72 | | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | (自己評価) 面会にくる家族には話す機会があるが、面会に来ることのない家族への周知は困難である。 | | 現在の本人の状況を家族にも把握してもらい、リスクに関しての話し合いも持っていききたい。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 毎日のバイタルチェックを行いながら、食欲・顔色・体調の変化について観察し、異常あれば、訪問看護・主治医に連絡し、支持を仰いでいる。 | | 異常の早期発見に努め、医療機関との連携を密に取っていききたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|---|
| 74 | | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 個人ファイルに内服薬についての説明書を綴じているが、変更あった場合には、職員に対して口頭での申し送りもしている。 | | 現在同様、職員間での申し送りを継続していきたい。内服薬変更によって生じた異常については、随時報告するよう徹底していきたい。 |
| 75 | | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) 自然に排便できることが理想ではあるが、緩下剤を服用している利用者に関しては、排便チェックすることで調整しながら内服している。 | | 少しでも、無理なくコントロールできるよう配慮していきたい。食事についても、考えていきたい。 |
| 76 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後の口腔ケアを実施している。自分でできない部分については、仕上げ磨きしている。 | | なるべく自分でしてもらっているが、充分でない利用者も多く、見守りをしながら援助していきたい。 |
| 77 | 28 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 管理栄養士の献立を元に応用にて調理している。水分補給は定期的に行っており、嚥下障害のある利用者には、お茶ゼリーを摂取してもらい、補給に努めている。 (外部評価) 利用者の状態に応じて、とろみを付けたり、ミキサー食で対応されている。お茶を用意し、水分が摂れるよう利用者に声をかけ、促しておられた。 | | 体重の変化にも注意しながら、食事をしていただきたい。水分補給に関しては、声かけをしながら十分に摂取していただくよう努めていく。 |
| 78 | | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等） | (自己評価) 利用者・職員共に、うがい・手洗いの励行を心がけている。マニュアルを作成し、職員が媒介者とならないよう徹底している。 | | 感染症について、職員が神経質にならないよう、正確な知識を身につけていきたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 79 | | <p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>食材は新鮮な物を提供している。衛生面に関しては、まな板・食器等、熱湯消毒している。</p> | | <p>今後も、食材の管理・衛生面での配慮を心がけ、食中毒予防に努めていきたい。</p> |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 80 | | <p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>出入口はスロープになっており、エレベーターには表示がある。ホームには、季節の花を置いている。</p> | | <p>ずっと同じものがあったりするので、雰囲気作りをしていきたい。</p> |
| 81 | 29 | <p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>廊下・ホールは広く、車椅子でも充分である。台所についても利用者の様子が見えるように設置してあるため安全である。明るく、心地よく過ごしてもらっている。</p> | | <p>ホールの模様替え・居室の整理整頓に心がけていきたい。</p> |
| | | | <p>(外部評価)</p> <p>病院を改装した事業所で、雰囲気に少々硬さを感じるが、車いすを利用されている方も自力で移動できるようフロアも広めで物の配置等に気配りされていた。季節に応じた折り紙の飾りや写真が飾られていた。</p> | | <p>さらに、利用者個々が居心地よく過ごすための工夫はないか話し合われてみてはどうだろうか。</p> |
| 82 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>一人で過ごしたい時間は居室で過ごし、娯楽時間はホールにて過ごす。会話できる利用者は自分なりの時間を過ごしている。</p> | | <p>移動介助が必要な利用者に対する配慮を考えていきたい。</p> |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 83 | 30 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) | | |
| | | | 本人に合った家具を持ち込んでもらっているので、本人にとっても分かりやすくなっている。置き場に不都合があればレイアウトしながら、配慮している。 | | 一人で物品の出し入れができない利用者が多いので、見て分かりやすくしてあげたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所で備え付けのベッドがある。ご家族が来訪時に座る椅子やソファが置かれている居室も見られた。穏やかな表情をされているご本人の写真を居室に飾っておられた。 | | おむつやパット等の収納等や戸の開閉について、プライバシーに配慮が求められる点も見受けられる。この機会に、利用者が、さらに居心地良く過ごすための居室の環境について、ご本人・ご家族とも相談しながら取り組みをすすめてはどうか。 |
| 84 | | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) | | |
| | | | 常に換気している。利用者によって温度感覚に差があるため、確認しながら実施している。臭いについては、換気扇・消臭剤を利用している。 | | 体調の変化に注意しながら、体温調節に努めていきたい。 |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 手すりが廊下・ホールに行き渡り、歩行可能な利用者は安全に移動ができている。4階にあり、外の景色を見ながら洗面でき、居室から外を眺めることができる。 | | 安全に過ごせるよう見守りを継続し、事故のない毎日を過ごしていただくよう援助していきたい。 |
| 86 | | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | わかる力はあると思うが、自立して暮らすことは不可能である。一瞬わかっていても、それが混乱につながっていく場合がある。 | | もっと趣味を活かしてあげられる支援をしていきたい。わかる人がわからない人に対して怒ることによって混乱しないよう声かけをしていきたい。 |
| 87 | | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) | | |
| | | | ホームは4階にあるため、外での活動は困難であるが、出窓に植木鉢を置き、水をやったり、屋上に季節の花を植え、上がってみることができる。 | | もっと広いスペースがあればいいが、車椅子で見学するには限界があり、土いじりができれば最高である。 |

| . サービスの成果に関する項目 | | |
|-----------------|--|--|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない | 意思疎通ができない利用者に対しても、把握の努力はしているが、できていない面もある。 |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | 職員に余裕がない中でも、お互いに協議しながら、一緒に過ごすように心掛けている。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | その都度確認しながらサポートしている。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 笑顔を見せたり、喜ぶ声が聞ける |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない | 家族の面会はホーム内であるとともに、外出に対しては個人差があるのが現状である。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 健康管理できており、医療が必要であれば連携でき診察してもらえる。 |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 職員に訴えることで、安心できている。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない | 面会が多い家族に関しては問題なし。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない | サロンへの訪問、グループホームへの訪問を予定しているが、実施できていないのが現状である。 |

| 項 目 | 取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と) | 判 断 し た 具 体 的 根 拠 |
|-----|---|------------------------------------|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ② | 意見交換、要望等を基に、地域との関係づくりを図ってゆきたい。 |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ① ① ① | 楽しく利用者や職員と関わっている。 |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ② | 日によっても、個人によっても違いがあるが、落ち着いて生活できている。 |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ② | 行事回数が少ないことから、回数の増加の希望もある。。 |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

* 本人・家族との信頼関係を構築し、個人に合ったプランの作成に力を入れていきたい。
 * 本人のニーズを拾い上げ、職員全体で支援していける体制を作っていきたい。
 * 利用者本位のサービスが提供できるよう努力していきたい。
 * 地域にも進出し、行事にも参加できるような仕組みを作っていきたい。